

RICOH REPORT

2017 

Contents	1	トップインタビュー	
	4	決算レポート	
	5	ニュースファイル	
		▶プリンティング技術を応用した新たな価値提供 <産業印刷分野>	
		▶「気候変動Aリスト」企業に認定	▶全天球カメラ「RICOH THETA V」を新発売
	6	株主様インフォメーション	
裏表紙		株主メモ、IRメール配信登録のご案内	

RICOH再起動の 進捗について

代表取締役 社長執行役員・CEO

山下 良則



4月に公表した「RICOH再起動」の中で、2017年度は「構造改革」をやり切るとおっしゃられていますが、現在の進捗状況を教えてください。

構造改革を、コスト構造改革と業務プロセス改革に分けて、各施策を推進してまいりました。特にコスト構造改革は、2017年度に完了することを目指してあらゆる施策を前倒しで実施してきましたが、一定の目途が付いたと考えています。これまでのところ、当初の計画を上回るペースで効果を創出して

います。

2017年度上期は、モノづくりの自前主義や自社販売・サービス体制の見直しを進めました。具体的には、生産拠点の統廃合・役割の見直しとして、北米生産子会社において、本社機能移転による効率化に加えて、産業印刷・サーマル事業などの

販売支援機能の強化を実施しました。加えて、米州の販売体制についても、お客様の業務・業務ごとに最適な提案を行うための販売体制への改革を行いました。

その他、リコーインドにおける支援方針の変更や、電子デバイス事業の株式譲渡を決定するなど、聖域を設けない事業ポートフォリオの見直しも進めています。



「成長事業の重点化」として掲げている「オフィス顧客への提供価値拡大」「プリンティング技術の可能性を広げる」に対して、どのような取り組みを行っているのか教えてください。

「オフィス顧客への提供価値拡大」における取り組み例として、大型操作パネル「MultiLink-Panel」を搭載した複合機が挙げられます。お客様の業務に合わせて、複合機をクラウドサービスの入出力端末として活用いただくことが可能となり、オフィスの業務効率向上に貢献するさまざまな機能を提供しています。さらに、お客様のオフィスにおけるコミュニケーションや働き方が変わりつつある中で、いつでもどこでも働くことを可能とするコミュニケーション支援サービスを拡大していま

2017年度下期以降は、「業務プロセス改革」により注力していきます。この上期も、欧州にシェアードサービスセンターを開設し、同拠点から南アフリカや北欧三か国の販売会社サポート販売会社のバックオフィス業務を行うなどの効率化を進めています。

今後も構造改革に関する諸施策を行いながら、より強固な事業運営体制を実現してまいります。

す。プロジェクターやインタラクティブホワイトボード（電子黒板）、テレビ会議システムなどの製品提供に加えて、これらを活用した仕事の効率化についてのノウハウやソリューションなどを提供しています。

次に「プリンティング技術の可能性を広げる」においては、プリンティング技術の活用を産業分野にも広げていきます。近年特に市場が拡大しているのが、産業用インクジェット技術を応用した領域です。リコーは30年以上培ってきた独自の

インクジェット技術を有し、産業分野のお客様に対して販売から技術サポートまでを担う事業を展開しています。新たに開発した産業用インクジェットヘッドは、ラベルやパッケージ、サイングラフィックス、デコレーション、テキスタイルなどの分野への活用

が期待されます。産業印刷市場における多品種小ロット生産や、短納期、オリジナルデザインの使用など、多様化しているお客様の価値提供に貢献していきます。

Q3

2017年度上期の業績と今期の見通しについて教えてください。

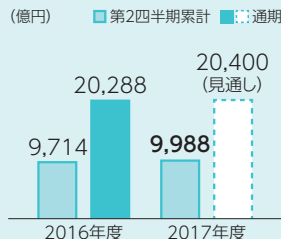
2017年度上期の売上高は、9,988億円と前年同期に比べ2.8%増加しました。オフィスプリンティング分野の売上高は減少したものの、オフィスサービス分野・商用印刷、産業印刷など成長を期待する事業分野を中心にそれ以外の分野で増加しました。

上期の営業利益は220億円となりました。将来の事業成長に向けた構造改革のための費用増があったものの、グループをあげて取り組んでいる経費削減活動の効果などもあり、前年同期に比べ33.0%の増加となりました。

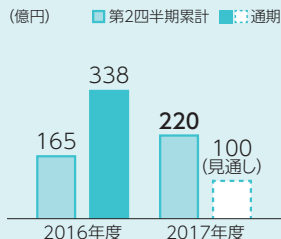
通期見通しについては、為替影響などにより売上高を2兆400億円に上方修正しました。利益につきましては、構造改革の進展や為替影響等の増益要因があるものの、連結子会社であるリコーインドへの再建支援方針の変更により今後発生が想定される損失見込み300億円を鑑み、営業利益は100億円、当期利益は70億円の損失へと変更いたしました。

尚、配当につきましては、4月にご案内させていただきました第19次中計での株主還元方針に基づき、中間配当金として1株当たり7.5円を決定いたしました。

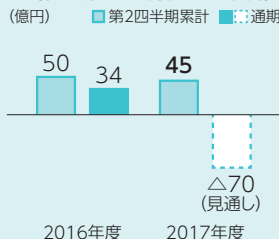
● 売上高



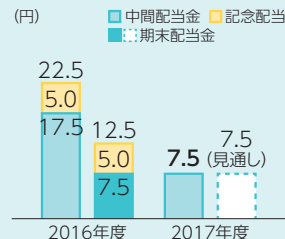
● 営業利益



● 当期利益 (親会社の所有者に帰属)



● 1株当たり配当金



● 分野別売上高

売上高 構成比 前年同期比

産業印刷分野

88億円 0.9% +64.1%

● 産業用インクジェットヘッドの販売が大きく拡大し、売上高は前年同期に比べ大幅に増加しました。

商用印刷分野

905億円 9.1% +5.5%

● 稼働台数増加により消耗品やサービス等が伸び、売上高は前年同期に比べ増加しました。

サーマル分野

294億円 2.9% +7.0%

● 欧米を中心に売上が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加しました。

その他分野

984億円 9.9% +11.8%

● カメラ事業が製品絞り込みにより減収となりましたが、光学機器事業等が堅調に拡大し、売上高は前年同期に比べ増加しました。

オフィスプリンティング分野

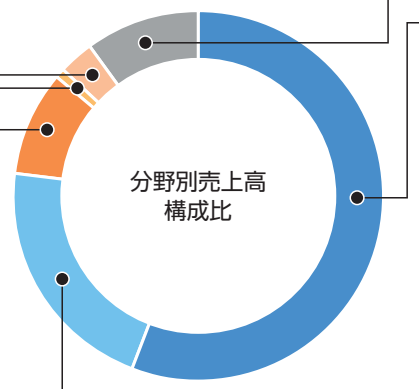
5,593億円 56.0% -2.0%

● 利益性を重視した販売展開と消耗品価格の継続的な下落により、売上高は前年同期に比べ減少しました。

オフィスサービス分野

2,120億円 21.2% +9.3%

● 国内を中心に、ITサービス、コミュニケーションサービスなどが拡大し、売上高は前年同期に比べ増加しました。



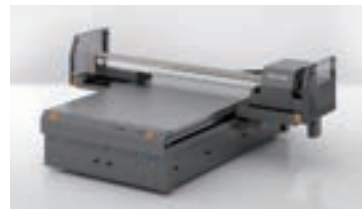
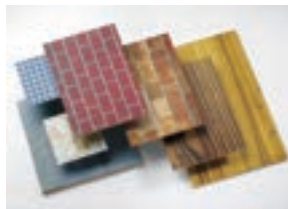
(注) 当社グループは2017年4月1日より開始した第19次中期経営計画で事業領域の再定義を行いました。そのため、当連結会計年度より、この再定義された事業領域に基づき、事業の種類別セグメントを変更しております。

プリンティング技術を応用した新たな価値提供 <産業印刷分野>

リコーの保有するインクジェット技術とオフィスプリンターの小型化技術を融合し、服飾品生地へ直接印刷を行う小型プリンター[RICOH Ri 100]を開発・発売しました。本製品は小規模店舗や衣類プリントを外注されているお客様に、簡単操作かつ安全にオリジナルTシャツやトートバックなどの作成を可能にします。リコーは、新たな服飾品生地印刷文化の創造に寄与し、事業拡大を図ってまいります。



RICOH Ri 100(仕上機を装着したもの)



RICOH Pro T7210

建材、インテリア製品など産業印刷市場では、多品種小ロット生産やオリジナルデザインの使用、短納期など顧客ニーズが多様化しています。リコーは、高耐久性・高吐出性を実現したインクジェットヘッドや高密度着UVインク、オフィスプリンターで培った画像処理技術を結集し、産業印刷向け大判フラットベッドインクジェットプリンタ[RICOH Pro T7210]を開発。木材、鋼板、アクリルなど幅広い基材の印刷に対応することで、多様化する顧客ニーズの取り込みを図ります。

「気候変動Aリスト」企業に認定

リコーは、CDP(*)より、気候変動対応と戦略において特に優れた活動をしていると評価された企業に与えられる「気候変動Aリスト」企業に認定されました。当社のこれまでの気候変動問題への取り組みと情報開示が評価されたものです。今後も社会課題に広く目を向けその解決にチャレンジすることで、新しい市場や提供価値を生み出し、社会の発展とリコーの成長の同時実現につなげていきたいと考えています。

(*) CDP: 企業や政府の温室効果ガスの排出削減、水資源・森林保全を促進する国際的な非営利組織。

全天球カメラ

「RICOH THETA V」を新発売

2017年9月にワンショットで360°の全天球イメージを撮影できるカメラRICOH THETAシリーズの最上位機種となる「RICOH THETA V」を発売しました。従来の小型・軽量ボディはそのままに、4K解像度に相当する高画質360°動画、圧倒的な臨場感を再現する360°空間音声記録などの機能を新たに実現しました。



RICOH THETA V

2017年度下期株主優待のご案内

[基準日:2017年9月末]

I 単元(100株)以上保有の全株主様に お送りするもの

●壁掛けカレンダー

お届け時期:
12月上旬～中旬(順次)



カレンダー(壁掛け)

カレンダーに関する
お問い合わせ

リコー株主優待事務局:0120-944-724
受付時間:10:00～17:00
(土日祝日・年末年始を除く2018年2月28日まで)

II 1,000株以上保有の株主様にご案内するもの【抽選】

- リコーフィル演奏会(ペア250組500名様)
- カメラセミナー(東京)(20名様)
- リコー関連グッズ(計1,700名様)

*詳細は同封の「株主優待のご案内」をご覧ください。

III 全株主の皆様にご案内するもの

リコー株式を保有されている全株主の皆様へ、リコーイメージング(株)のカメラ等の製品やリコーエレメックス(株)の時計製品等を特別価格にて販売いたします。同封の案内をご覧ください。

【ご報告】2017年度上期株主向けイベント実施

◆市村自然塾見学会ご招待【抽選】

満足 **100%**

5月20日、株主様に塾生の農作業する姿をご覧いただきました。

株主様のご感想

- 子ども達の体験教育に力を入れていることに大いに感動した。
- 自然塾で育った子ども達の未来が楽しみです。



◆「カメラセミナー(大阪)」ご招待【抽選】

満足 **100%**

11月11日、今回初の関西方面でのカメラセミナーを開催いたしました。

株主様のご感想

- 初めて一眼レフを使用したけど、説明が分かりやすく、楽しかった。
- 充実した内容で、特に講評が参考になった。



上記の他、「リコーフィル演奏会」「ラグビー観戦チケット」「日本科学未来館常設展示招待券」を抽選でプレゼントしました。

優待スケジュール
2018年
年間スケジュール



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社 の全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、特別口座にて株式を管理されていらっしゃる株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

IRメール配信登録のご案内

株主の皆様へ決算情報やニュースリリース、その他のIR情報を電子メールでお知らせしております。

ご希望の方は、当社IRサイトよりご登録の手続きをお願いいたします。

※本サービスは携帯電話メールには対応しておりません。

ご登録方法

- 1 「リコー IR」で検索し、IRトップページへ

リコー IR

- 2 こちらの「登録」ボタンよりご登録ください。



株式会社 リコー



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

